

施政方針と当初予算

施政方針演説

市長に就任して以来、早いもので1年余りが過ぎました。就任に際し、職員に対しては、明るく、元気で、風通しのよい市役所、市民に信頼される市役所となるよう一層努力してほしいと、また、市民の皆様に対しては、対話と信頼関係を基本姿勢として市政を運営していきたいと申し述べました。これまで、課長をはじめ職員との意見交換会を開くことも、「市民と市政を語る会」などを実施してきました。また、様々なイベントにもできる限り参加し、市民の皆様との対話や触れ合いの場を大事にしてきたところであり、多くのイベントで市民の参加が増えつつあることは、誠

にうれしい限りであります。ところで、この冬は異常気象による記録的な暖冬であり、東京都心で初雪がない、札幌市で零下十度を下回る日がない、既にセミや蛭が姿を現した地域もあると聞きます。また、昨今、全国各地で急激に発達する温帯低気圧、いわゆる爆弾低気圧が発生し、強風や竜巻などの被害が各地で起こっています。

本市においても、寒暖一定しない状況の中で、二月三日の積雪と低温により、実エンドウやソラマメなどに約二千八百万円に上る被害があったと報告を受けております。これから一番茶に向けて大事な時期になりますので、気候が落ち着いてくれることを願うばかりです。

また、宮崎県などで相次いで発生した高病原性鳥インフルエンザは、養鶏農家に大きな脅威

を与えました。本市でも、防疫体制の支援のため、市内の養鶏農家に消毒用の石灰を緊急に配布するとともに、学校、幼稚園・保育園、一般の家庭での鳥類飼育の実態を調査し、飼育している小学校、保育園や家庭に消毒液配布を行ったところで、一方、うれしい出来事もございます。

2月25日には、川辺地区植樹祭が多くのお来賓や関係者の参加の下、盛大に開催されました。なお、今議会に設置条例制定をお願いしてある瀬戸桜公園につきましても、整備に当たり御支援いただいた別府地区戸管理委員会、桜基金に御尽力いただいた市観光協会をはじめ御賛同いただいた多くの方々にお礼を申し上げます。その御好意に沿った公園となるよう、なお一層努力してまいります。

また、昨年の枕崎漁港における水揚げは、過去最高の水揚量を記録しました。これも積極的な外来船の誘致活動や関係団体の連携が実を結んできているものと考えられます。

また、昨年の枕崎漁港における水揚げは、過去最高の水揚量を記録しました。これも積極的な外来船の誘致活動や関係団体の連携が実を結んできているものと考えられます。

また、昨年の枕崎漁港における水揚げは、過去最高の水揚量を記録しました。これも積極的な外来船の誘致活動や関係団体の連携が実を結んできているものと考えられます。

また、昨年の枕崎漁港における水揚げは、過去最高の水揚量を記録しました。これも積極的な外来船の誘致活動や関係団体の連携が実を結んできているものと考えられます。

安全で潤いのあるきれいなまちづくり

水道事業については、市民に安全で良質な生活用水等を提供できるよう、引き続き石綿セメント管等の更新事業を実施するほか、現在、牧園水道組合が行っている飲料水供給業務を市の水道で行うこととし、早急に施設整備を進め、新年度中に供給を開始します。

公共下水道事業は、終末処理場及び松之尾汚水中継ポンプ場の改築更新事業のほか、引き続き塩屋北町等の一部の面的整備を実施します。

また、合併処理浄化槽の設置を推進し、生活環境の改善や公共用水域の水質安全を図ります。

ごみの分別に対する市民の意識啓発に努め、ごみの再資源化再利用及び減量化を更に積極的に推進します。

花渡川水系の改修事業として、第二花渡橋、権現橋、神浦橋、国道新橋の工事が引き続き実施されますが、国道二五号の交差点改良及び歩道設置工事を含め、新年度完成に向け、国及び県との調整に努めます。

昨年制定した「枕崎市犯罪のない安全・安心まちづくり条例」に基づき、新年度は、防犯に対する市民意識の高揚を図るため、

関係団体との連絡会を開催します。

災害に強いまちづくりの一環として、自主防災組織及び防炎リーダーの育成に努めるとともに、災害時の要援護者の安全を確保するため、「災害時要援護者避難支援プラン」を関係機関と連携し策定します。

また、市総合防災訓練は、梅雨期の災害シーズン前に関係機関と連携して土砂災害防災訓練として実施します。

犯罪や事故、異常気象に伴う災害や有事にも市民が安心して暮らせるよう危機管理体制の充実に努めます。

増え続ける消費者トラブルから市民を守るため、消費生活相談について、更に広報に努めるとともに、市民の意識づくりのための消費生活出前講座を引き続き実施します。

▼主な事業

- ▽水道事業会計出資金(牧園地区安全対策事業) 79,000千円
- ▽下水道事業繰出金 374,600千円
- ▽循環型社会形成交付金事業補助 29,628千円

快速で便利な拠点性の高いまちづくり

旧南薩線跡地については、利用計画に支障のない限り、公売を積極的に行うなど、有効活用を努めます。

南薩縦貫道については、いまだ計画区間である知覚町から枕崎市間12キロメートルについて近隣市町と連携し、早期の調査区間への格上げと全区間の早期完成に向け、引き続き要請を強化いたします。

生活路線バスに係る赤字路線廃止問題は、利用者への影響を極力抑えた形で一段落しましたが、今後とも利用喚起に努めるとともに、利用状況等を勘案しながら、事業者や県等と連携して市民の交通手段の確保に取り組みます。

- ▽南薩地区衛生管理組合負担金 519,653千円
- ▽ごみ収集事業委託 45,700千円
- ▽第2花渡橋架替事業負担金 4,516千円
- ▽県単砂防事業負担金(火之神川) 1,500千円
- ▽県単急傾斜地崩壊対策事業(宮前町・水流5地区) 20,000千円
- ▽県営湛水防除事業負担金

旧南薩線跡地購入

旧南薩線跡地については、利用計画に支障のない限り、公売を積極的に行うなど、有効活用を努めます。

南薩縦貫道については、いまだ計画区間である知覚町から枕崎市間12キロメートルについて近隣市町と連携し、早期の調査区間への格上げと全区間の早期完成に向け、引き続き要請を強化いたします。

生活路線バスに係る赤字路線廃止問題は、利用者への影響を極力抑えた形で一段落しましたが、今後とも利用喚起に努めるとともに、利用状況等を勘案しながら、事業者や県等と連携して市民の交通手段の確保に取り組みます。

- 9,214千円
- ▽交通安全施設整備事業 6,500千円
- ▽南薩地区消防組合負担金 304,418千円
- ▽消火栓設置費 9,299千円
- ▽県防炎情報ネットワーク整備負担金 1,293千円
- ▽防犯灯設置及び維持補助 5,166千円
- ▽枕崎地区防犯協会費 2,190千円

旧南薩線跡地購入

旧南薩線跡地については、利用計画に支障のない限り、公売を積極的に行うなど、有効活用を努めます。

南薩縦貫道については、いまだ計画区間である知覚町から枕崎市間12キロメートルについて近隣市町と連携し、早期の調査区間への格上げと全区間の早期完成に向け、引き続き要請を強化いたします。

生活路線バスに係る赤字路線廃止問題は、利用者への影響を極力抑えた形で一段落しましたが、今後とも利用喚起に努めるとともに、利用状況等を勘案しながら、事業者や県等と連携して市民の交通手段の確保に取り組みます。

- 10,208千円
- ▽道路維持費 124,507千円
- ▽舗装新設(一般)事業 2,000千円
- ▽舗装新設(辺地)事業、茅野駒水線ほか3線 61,305千円
- ▽地区道舗装事業 1,600千円
- ▽道路改良事業(宇都山口線) 6,400千円
- ▽地方道路整備臨時交付金事業 180,038千円
- ▽街路事業負担金 9,000千円
- ▽空港管理費 18,487千円
- ▽電算費 41,427千円

そこで、新年度の施策の主なものについて、第五次枕崎市総合振興計画の基本構想の六つの柱に沿って、御説明いたします。



昨年5月、新しいホームが完成したJR枕崎駅。